「フクシマのような事故を二度と繰り返させない」と
原発ゼロをめざして15年

原発ゼロ長岡市民ネットは結成15周年を迎えます

東京電力福島第一原発事故が起きた二〇一一年の夏、原発をなくすために長岡でも行動しなければと、今はなき二人の市民の思いに応えて十一人が呼びかけ人になって300人規模の「原発問題を考えるシンポジウム」が開かれました。その中で会の結成が提起され、準備委員に応募した人たちが集まって一から話し合いを重ねました。名称は原発ゼロ長岡市民ネットとなり、原発をなくしたいという一点の思いを共有する個人加盟の会として11月27日に120人参加のスタート集会を開催。入会者68名で会を発足しました。二年後には300人を超える会になり、以来多くの会員・市民のみなさんに支えられともに力を合わせて活動しています。

「フクシマを忘れない」の思いでつながってきました

毎年3月11日には集会を開催。11月のゼロネット結成集会では、福島の方からお話を伺う機会を持つようにしてきました。これまでおいで頂いた方に浪江町の馬場有町長、宝鏡寺の早川篤雄さん、伊東達也さん、松谷彰夫さんなどがいます。また、避難してこられた高田直光さん、礒貝潤子さんなど何人かの方のお話も伺うことができ、原発事故の過酷さを知りました。



福島原発避難者訴訟原告団長早川篤雄さん。福島と長岡で２回に渡りゼロネットにお話。「フクシマのようなことが二度とあってはならない。どうすればよいか？原発を稼働させないことが重要です。そのためには、住民運動、国民運動しかないと考えています」

●福島へのバスツアーを2回実施し、除染土の詰まったフレコンバッグの山や、田んぼの真中に木が生えている無人の人里の光景に衝撃を受けました。（２０１５年７月＆２０１７年７月）

※その他、各地域ごとに映画「未来への決断～ノーモア原発」上映会と組んでの署名活動、放射能測定、県内再生可能エネルギー見学ツアーなど様々な学習や行動に取り組んできました。

＊原発のない安心・安全な未来を子どもたちに手渡すためにこれからも一層の取り組みを進めていきましょう。



柏崎刈羽原発再稼働で事故の危険が格段に高まる中、福島原発告訴団団長として活動している武藤類子さんが、福島の今と「原発事故がもたらすもの」についてお話します。ご一緒に学び、考えましょう。

原発ゼロ長岡市民ネット
結成１５周年
原発再稼働を考える市民のつどい

☆１１月２３日（月・祝）
☆長岡市立中央図書館
１３：３０～

東電フクシマ原発事故から１５年
原発事故がもたらすもの
お話　武藤類子さん

福島から駆け付けます!!



11月のアオーレ前宣伝行動は 11月11日（水） 16時～16時30分 ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第１７４号　2026年１０月２６日発行

連絡先　広井洋子　長岡市寿２－５－15
電話・FAX　０２５８－２４－２８７０

ホームページ